

20年後の自分のために学ぶ

# 新・青山Fプレップスクール

杜のおはなし

《個別指導：小中高 社会人》

ゆかいに、かしこく、しなやかに  
ゆかしい気持ちを、You can see に

ゆかしネットワークスLLC

2030年デザイン事業部

ねぎごとを

さのみ聞きけむ 社こそ

はては嘆きの

杜となるらめ

(讃岐 『古今和歌集』)

# むかし、あるところに

---

慎ましく暮らす、働き者の夫婦がおったそうなの。

夫婦には子どもが一人ありました。

夫婦は、その子にどんな教育を授けるのが

一番良いのかと、頭を悩ませておりました。

# 村人たちは言いました

## スキル派

- ・ 将来食っていくためのスキルが必要
- ・ 今からグローバルリーダー教育だ
- ・ お金の勉強、IT教育
- ・ 理系の方が就職有利
- ・ 結局、詰め込みがいい
- ・ プレゼン力が大事
- ・ 戦略、効率、そのための管理

## 保守派

- ・ こんな時代だからこそ、学歴だ
- ・ 早慶レベルですら就職できない
- ・ あそこの学校がいいらしい  
ここの塾がいいらしい
- ・ 大企業、公務員が安定
- ・ しつけ、作法、お行儀
- ・ 自分たちもやってきたんだから

## 放任派

- ・ 放っておいても、子どもは育つ

## ゆとり派

- ・ 個性を伸ばす教育を！
- ・ 子どもの創造力はすばらしい！
- ・ 一人ひとりの成長に合わせて

## 教養派

- ・ 英語よりも教養
- ・ 知ることそのものが目的である
- ・ 幅広い教養こそが、真の知性を生む

## 人格派

- ・ 人格の形成が教育の目的
- ・ 論語、葉隠、武士道などの古典教育
- ・ 人間力を養う

## 国策派

- ・ 国や地域を愛する子どもの育成
- ・ 「健全」な青少年の育成

## <説明しよう①>

# 当時の時代背景

当時の人々は、20年後の世の中がどうなっているのか、わかっていませんでした。わからないからこそ、漠然とした不安が、重くのしかかっていました。どんな備えをしておいたら良いのだろう。

### 不安要素

- ・ 高齢社会の負担
- ・ 多数決政治の限界
- ・ 機械化・グローバル化
- ・ 人材の海外流出、移民
- ・ 経済格差の拡大
- ・ 過疎・過密の激化
- ・ 巨大災害
- ・ 拝金・権威・虚無主義
- ・ 食糧・資源不足
- ・ パンデミック
- ・ 内乱・戦争

### 希望要素

- ・ 未知のテクノロジー
- ・ 社会効率の向上
- ・ 経済以外の価値観
- ・ 多様性、質的向上
- ・ 国際協調
- ・ 教育革命
- ・ 新しい世代の活躍

(情熱+能力) x 環境

**= 想像を超える未来**

後から振り返ればわかることですが、20年前の常識はあてになりません。

# 本当の願いは何じゃったかの

いろいろな人の話を聞いて、また自らも勉強し、  
しかし結局、さらに悩みを深めてしまった夫婦に  
村の長老は問いかけました。

ねぎごと  
「祈ぎ事は何じゃったかの」

村人たちの意見の相違も、結局は目的の違いによるものでした。  
何を、最終のゴールと定めるか。

「それは」夫婦は答えました。

「この子が将来大人になった時に、幸せであることです」

<説明しよう②>

# 当時の若者心理

当時の若者たちも同様に、将来に対する漠然とした不安を抱えていました。しかしいつの時代も若者は、将来の不安に対する策を持たないために、刹那的、怠惰的、快楽的、退廃的な方向に流されがちです。当時の若者心理の主流は、、、

そこそこでいい

そこそこ勉強して、そこそこクラブ活動も楽しんで、そこそこの学校に行って、そこそこの会社に入って、そこそこ幸せな人生を送ればいい。

その心理の奥底は、

どうせがんばっても、大した未来は訪れない。むしろ大変なだけ。  
今より良い未来なんて来ない。大事に飼われている今が一番幸せ・・・

# 親がしてあげられることは

最終的には、とても単純なことである、  
夫婦はだんだんとそんな風に考えるようになってきました。

- 将来に希望を持てるようにしてあげること
- そのために、しっかりと期待してあげること
- そして、一貫した態度を示し続けること

そしてそれは、単純だけれども、（単純だからこそ）  
難しいことであるとも思いました。

親は、親である以前に一個の人間であり、  
完璧な存在ではありえないからです。

# 旅をさせてみようか

---

夫婦はさんざん悩んだ末、  
その子（仮にFとでもしておきましょうか）を  
旅に出すことにしました。

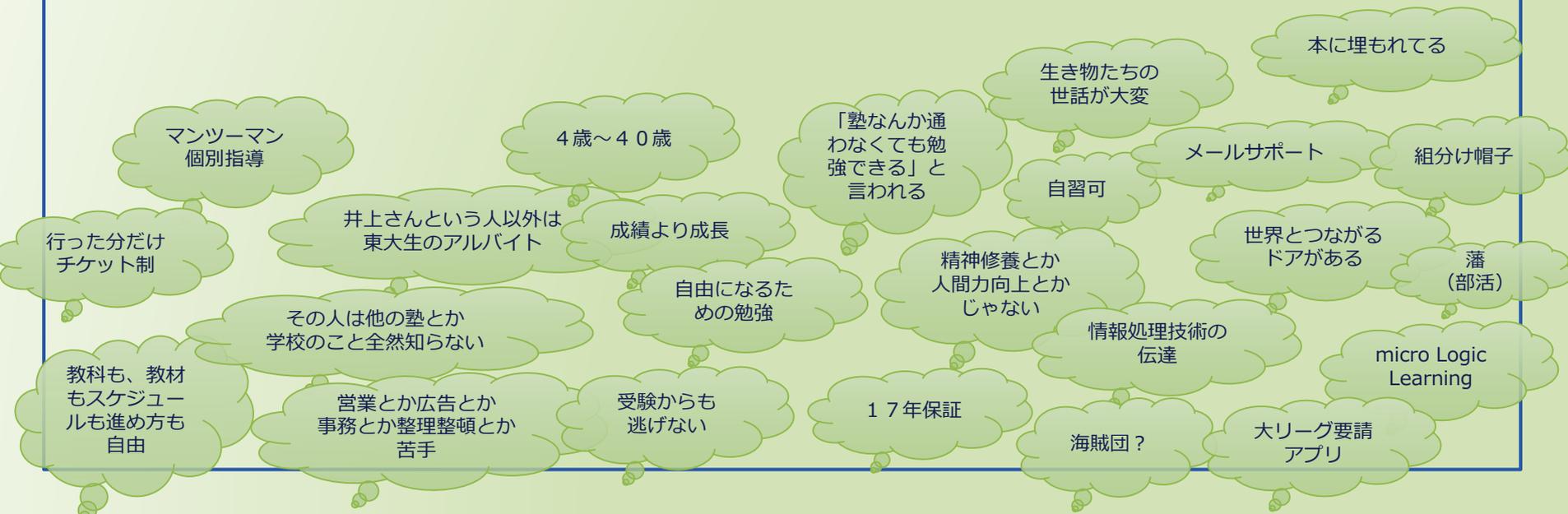
広い世界を、

- 自分の目で見て
- 自分の心で感じて
- 自分の頭で考えて
- 自分の道、自分の歩き方を模索する

そんな経験の中に、喜びを見出してもらうために。

# 妙な噂がありました

都会の喧騒の一隅にひっそりと佇む  
変な塾があるらしい・・・



# わけがわからないので

両親と一緒に恐る恐る、  
その、なんたらプレップを訪ねてみることに  
しました。

誰だ〜これ〜  
書かされたら！  
「ぼーっとした感じの」  
外苑の前にあるその場所を訪れると、

ついでに言うところだけの話ですが、  
最近ちょっと太った。髪の色が、  
~~見るからに頭の切れそうな~~ その井上とかいう人が  
出てきました。

# 結局、面談は1時間ほどでした

本がたくさんありました。生き物がたくさんいました。

塾の話はほとんどしませんでした。

塾の形がはじめにあるのではなく、生徒さん一人ひとりに合わせて、塾が形を変えるからです。

自分の現状と目標、そして直近の課題についてお話をして、いくつかアドバイスをもらいました。また、具体的に教科の内容についての質問もしました。アドバイスはどれもすぐに実行できそうなものでした。

「だから、塾なんて通わなくてもいいんだよ。

これからの時代は、学びたい人にとって天国のような時代。

自分次第で何でも学べるよ。学校のお勉強に限らずね」と。

とはいえ、せっかくここまで来たこともあり、また他にいいネタがあるなら欲しいと思って、体験授業を受けることにしました。

# 体験授業はあっという間でした

担当してくれたのは、東大生でした。

勉強の内容だけでなく、計画の立て方、参考書・問題集の選び方、勉強場所について、やる気が起きない時、、、など、具体的な体験に基づくアドバイスがありがたかったです。また、同性ということもあり、何でも話せる雰囲気なのもよかったです。東大なんて考えたこともなかったけれど、意外と普通の人でも行けるもんだな。

授業中に、横にいる井上とかいう人が時々割り込んできて、さっきのところをもう一度繰り返すように言われました。自分ではわかっているつもりで、「わかりました」って言ったけど、実は本当はよくわかっていなかったことがわかって、この人も案外アホではないんだな。

いいね!

ここが、家庭教師との違いかも  
家庭教師って結局、密室だし

# そこには何もありませんでした

帰宅後、体験授業を振り返ってみて、あそこには何もなかったんだなと思いました。

- × 成績を上げる魔法のテクニック
- × 試験に合格する必勝法
- × この問題はこう解けばいい
- × こうすればいつでも誰でもやる気UP . . .

絶対善ではないよ。  
たえわかりづらくても、大事なことは  
わかる必要があると、私も思います。

- すべては、自分で考える事からスタートする
- そのきっかけを与えてくれるのが数々の問題
- それらを通じて自分の理解を深めたり、引き出しを増やしていく

同じ問題を、同じ悩みを、一緒に考えてくれる人がいるだけなんだな。

先生がいて生徒がいて授業があるのではなく、人と人が1つの問題を真剣に考えてそれについて話し合う空間があるだけなんだ、と思いました。

そしてそれは、少し新鮮に感じました。

# 自由って結構面倒くさい

【日常の自分に、少し違った刺激を与える】

そんな目的で、少し通ってみることにしました。

そして、一番はじめに困ったことは、、、

どの教科を教えてもらうか／どの教材を使うか／

どんなペースで進めるか／予習中心？復習中心？／

解説中心？質問中心？／スケジュールはどうするか、など

すべてを自分で決めなければならなかったことです。

決めてもらう方が楽、

自由って案外面倒くさいな、と思いました。

そう！  
点数や成績、合格をお金で買うなんて経験-  
なるべくしない方がいいよ。

月謝制でなくチケット制なものから。  
目的意識を持って来てほしいから。

アドバイスはしますよ！  
そして、決めはしますが、柔軟に対応  
しています。その時わからないものは、  
何でも、どの科目でも、持ってきてね。

私たちも、よほど面倒です・・・  
ともに、自由の刑に処されて、  
ともに苦勞しましょう・・・

自由を放棄したがついている人結構います  
ほんとにそれでいいの？

(おとなも子どもも)

# 自分にはとても効率的だと思いました

- わからないところをピンポイントで、  
わかるまで聞くことができる

普通の集団塾だと、質問できる子も  
いるけど、できない子もいるよね。

- 先生は基本的にはずっと固定なので、  
自分がどういう説明がわかりやすいかということを  
覚えていってくれる

個別とかマンツーマンでも  
頻繁に先生が変わったら落ち着かないね。

- 予定や進め方を、柔軟に変更できる

その他、メールサポートや、自習、オンライン自習なども

# 毎回のメールは ちょっと過保護かなって思います

レッスン（授業）のたびに、一人ひとりの保護者に対して、その日のレポートをメールで送っているそうです。

- 今、何をしているか
- どこに課題があるか
- それに対してどういう取り組みをしているか
- おうちでサポートして欲しいこと

ちょっとお節介かなと思いましたが、  
両親にとっては、「見える授業」はありがたいそうです。

これも、結構大変なんですよ

# 鍛えているのは、情報整理の作法

将来自分を助けてくれるのは、基礎学力。  
 つるかめ算の解法をただ暗記してできたところ  
 うーん、それは良かったね、... としか、...

問われているのは、知識でも才能でもない、  
 ましてや人間の優劣でもない。

好きか嫌いかも、関係ないよ ^^!

「学校の勉強なんて、

単なる情報整理の作法を身につけるだけです。簡単でしょ」

- 問題領域、使える道具、制限時間が決まっているなかで、
- インプットとなる情報を咀嚼して整理し、
- 期待されるアウトプットが何かを読み取り、
- 形式を整えて答えるだけ

もっと早くに教えてほしかったよ・・・

まあ、あの人に整理とか整頓とか、  
 言われたいですけどね。。。  
 ご本人曰く、「全部頭に入っている」とのことですが、  
 近頃特に、アヤシイ・・・

# micro Logic Learning って何だ？

勉強全体を、単なる情報処理だと捉えなおすと、気が付くことがたくさんあります。頭の中でやっていることを細かく分析してみると、科目は違っても、かなり共通性があることがわかります。

まずは、情報のインプットについて。コンピュータサイエンスの分野において用いられる用語で、**GIGO** (garbage in, garbage out) という言葉があるそうです。「入力される情報がゴミだと、出力もゴミになる」という意味だそうです。学校の勉強において考えてみると、問題文の読み飛ばしや読み間違いは、まさに garbage in です。数学や物理なんか、問題文にある情報を1つでも読み間違えたら、絶対に正解にたどり着くことはできません。考えてみれば国語も英語も同じです。そんな当たり前なのに、過去の自分を振り返って、問題文をきちんと読まなかったことがどれだけ多いことか。適当に読んで適当に答える癖が、いつの間にかこびりついてた。そもそも勉強なんてやられるもので、自分の能力を鍛えているなんて発想なかったな。

次に、インプットした情報をなんらか処理することについて。簡単な問題は、なんか適当にできてしまいます。しかし難しい問題になると、何をどうしていいのかわからない。。。そんな時に大切になってくるのは、**【情報の下拵え、下準備】**。そういえば、母さんがよく言っていたけれど、下拵え・下準備がしてあるかしていないかどうかで、料理の手間や手順がまったく違う、だからとつても大切なんだと。情報の場合はどんな下拵え・下準備が必要かという、これが驚くほど単純で、

**『分ける』『並べる』『教える』『揃える』『比べる』『抜けを探す』『圧縮・展開する』『言い換える』『置き換える』・・・**

これらの精度と速度を限りなく上げることが、実は「頭のよさ」の本質だったんだ。「頭がいい」って言ったりもするけど、これだけのことです。

単純な例として、計算問題。すべての計算を速くする必要はなく、2桁までの足し算引き算と、 $\times 2$ 、 $\div 2$ 、 $\times 3$ 、 $\div 3$ 、 $\times 5$ 、 $\div 5$ だけを徹底的に鍛えると、驚くほど計算ミスは減り、スピードも上がります。ひと手間かけて、単純な処理に変えてから、速く正確に行った方が、ややこしいまま扱うよりも、ちょっと信じられないくらいお得。急がば回れます。そこからさらに発展的に考えると、もしかしたら、私たちは普段10進法を使いますが、もし私たちがカエルだったら。つまり、指が3本しかなかったら、、、6進法を使っていたでしょう。すると、計算の負荷がかなり減ることが予想されます。文明の成り立ちも変わっていたかもしれませんね。コンピュータってのは、2進数でやっているわけだから、1つ1つの処理はものすごく単純です。そしてそれを速く正確に行っています。そして、驚くほど高度なことが実現できています。人間の脳もそうですね。電気伝達とシナプス結合しかしていないのに、それらが何億とつながると、、、←こんなことを考えたりもする。。

簡単なことの速度と精度を徹底的に高めると、進化のスピードが上がって、想像もつかないことが起こり始める。不思議ですね。だから、丸暗記なんて意味がない。問題すばやく分解して、**簡単なことを、超速度・超精度**で処理して、再構築する。応用力ってそういうことだと思います。そしてだからこそ、基礎が大事ということに気付かされました。机に座って問題解いただけが勉強じゃない。普段の生活の中でも頭は鍛えられるんだと思いました。

micro Logic Learning というのは、こういうごくごく簡単な処理の集合を指すそうです。幼稚園生でもできる単純なことだけど、その精度と速度を徹底的に上げていくトレーニングです。またまたコンピュータの例になりますが、CPUの性能と、入出力装置とのやり取り (BIOS) を徹底的に強化しようということです。人間の場合ハードウェアの増強はできませんが、そしてキャッシュ (ワーキングメモリー) の容量にかなり制限がありますが、その代わり CPU の性能は上げられる。単純化してスピードを上げる

と全体の効率があがるのは、進化の歴史そのものかもしれない。やっている自分が生まれ変わっていくようで、楽しいです。

国語 英語 理科 社会 数学

何でもいくらかでも積める

【理解の文法】  
micro logic

読み書き

- 共通する考え方
- 使い回しの利く手法
- 情報の扱い方
- 抜けや矛盾の発見
- ...

まずコンピュータに詳しくないのだから、自然や生き物も、同じで、まっただよびに、目に見えない小さなものが、突然起こり始める。教えられるなんて不思議！

それにしても、、、書き過ぎだよ、、、私以外、誰も読まないよ～

# 「なんとかなる」から 「なんとかする」へ

「なんとかなるだろう」ファンタジーを捨てたところから、  
自分の人生が本当に始まったように思います。

特別に記憶力がいいわけでも、頭の回転が速いわけでもない。  
仕方がない、それは認めよう。そのうえで、じゃあどうするか？

観察+実験+考察

考えることが増えました。

考えるために、勉強することも増えました。

今となっては、どうして「なんとかなる」ことで満足していたのか、  
ちょっとわかりません。

「なんとかする」ためにどうしたらいいか？

戦略的って言葉は、まだ宙に浮いていますが、

限られた「時間」と「お金」を、望ましい将来に向けてどのように投資するか？

身の回りの物事に対する、見方・考え方が変わったのかな。

すごいわね！  
私よりもすごいじゃないですか！

# 合理的のその先へ ＜処理できる＞ → ＜判断できる＞

自分の頭で考える = 判断できる (処理も必要ならできる)

宇宙のこと、原子のこと、人間のこと、日本人とは何か...  
知らないまま死ぬなんて、  
恋愛を知らない人生と同じ、否定はしないけど、ちょっと寂しい...

情報整理とか、戦略的思考とか、  
なんか無味乾燥な言葉が並びましたが、もっと大切なこと。

一回しかない、やり直しの利かない、自分の人生において  
重要な判断は、自分でしたいと思っています。

学校で習うことは、そのための価値観・大局観を養っていると思います。

- 理科は・・・自然とは何か、人間も自然の一部であること
- 社会は・・・人間とは何か、自然が人をどう作り、人が社会をどう作ったか
- 数学は・・・数式を使った論理的な読み書き能力
- 国語は・・・言葉を使った論理的な読み書き能力+日本語の美しさ
- 英語は・・・英米人のものの考え方（日本語との違い）

自分なりの自然観・世界観・人間観・歴史観がある人生と、ない人生なら、  
ある人生を生きたいです。

『神曲』や『源氏物語』と  
タイトルや評論しか知らない人生よりも  
実際に触れたことがある人生の方が豊かだと  
私も思います。

単子葉・双子葉の話、私も好きです。

楽しんでお金たくさんもらって、  
ぜいたくに飲み食い、大騒ぎするために勉強してるの？  
何事もなく、ただ平穏で長生きするために勉強してるの？

## <説明しよう③>

# 単子葉植物と双子葉植物

● 単子葉類と双子葉類 ●				
	茎の維管束	葉脈	根の形	子葉
双子葉類	 輪状	 網目状	 主根と側根	 2枚
単子葉類	 散在	 平行	 ひげ根	 1枚

Fは、なかなかおもしろい子ですね。

自己主張が強いタイプではないけれど、何かをずーっと考えてますね。

早熟タイプではないけれど、だからこそ将来が楽しみです。

まあそれは置いておいて、前ページで思わぬお褒めを授かった、単子葉・双子葉について。

これ、小学校、中学校で習うのですが、結構な時間を割かれています。どうしてかわかりますか？

これは、とても重要なこと（自然観）を学ぶためだと、私は思います。

ただの、暗記事項だと思っていないですか？

本当はたくさん書きたいのですが、スペースの関係上要点のみに割愛します。詳しくは直接聞いてください。

### 進化とは何か？

- 分業すること
- なぜか？ エネルギー効率が低い  
→ つまり、進化とはエネルギー現象
- 人類の歴史も同様
- 時代が進むと、分業が進む
- 勉強も、自分の中での分業がコツ！

### 進化が勝ちか？

- 単子葉が絶滅していない
- シンプルだと、初期コストが低い
- 脆弱な環境や変化に強い  
→ つまり、環境によって棲み分け
- 人間社会も同様  
→ 変動環境では、シンプルが有利  
→ 安定環境では、初期コストが見合う

つまり、、、

- 進化
- エネルギー
- 組織
- 経済
- 企業競争

いろいろな分野に  
応用可能な基本概念と  
捉えると勉強しがいも  
あると思います。

単に知識として<ハウセンカ=双子葉>と覚えていても、生きる指針にはならない。

# それでも進路選択は難しいです

偏差値、通いやすさ、イメージ（校風、制服、巷の評判・・・）、進学（就職）実績、学部／学科、学費、先輩や友達。これら以外に学校選びの基準ってあるんでしょうか。

「ないよ」 *← ないんですか!!!*

*楽に入れるかとか、  
入ったら楽できるかとか、  
「楽」で選ばない方がいいと思いますよ。*

「ないものを探そうとするから。それは難しいですよ」

「そもそも、こちらの道に行けば天国だし、こちらは地獄だ、みたいな選択をすることは、ない」

「大事なことはね、

- 1回しかないやり直しの利かないことに、確率論だけで考えるのは間違い
- 自分がコントロールできるものと、そうでないものを区別して、コントロールできるものに集中する
- 一番コントロールできて効果の高いものは、自分自身（他人が決めた岐路を本当の岐路にしないこと）
- たゆまぬ努力に勝るものなし（環境選びは最重要事項ではない。どこに行ってもやりようはある）

*選択の正しさ < たゆまぬ努力*

もうちょっと言うとね

- 自分に対する期待値（他人からの、また自分自身の中で）を実体より少し大きくしておくこと、そしてそれを超えようとする
- 他人からの期待値は、主に希少価値で決まる
- 希少価値が高いのは、内部に大きなギャップを持っているもの（いわゆるキャップ職、ツンデレ、優長と逆三の対談、iPhone）

*期待値を上げる = 価値創造  
付け焼刃やいいところ取りでは生まれな*

*おーい  
聞いてますか〜*

みんなと同じがいいというのは論外だけど、ただ難しいことを求めるのも悪くない。たゆまぬ努力に勝るものなし。

*そんなこと言いつつ、一人ひとりの性格まで考えて相談に乗ってますよ。  
合格 = 勝ち、不合格 = 負けとは、全然思いません。あくまで出発点。*

# また変なことが始まった

またあの人です。

どうしてそんなおかしいことばかり思いつくのだろうか。

## 組分け帽子

マンツーマンなのに、組分けがあります。入塾時、組分け帽子により分けられます。行いによって、組に対して得点が与えられたり、減点されたりします。組は、その人が大切にすべき徳目によって分けられるそうです。詳しくは、ここには書ききれませんが、歴史を体感し、生き方を学ぶ生きた教材だそうです。おそらくは、あの魔法学校の影響です。

## F-DooR

まだ実験段階ですが、世界中、そして日本中の学び舎とリアルタイムでオンライン接続。世界を感じる、多様性を感じる事が目的だそうです。おそらくは、あのネコ型ロボットの影響です。

## 藩活（部活）

どうして塾に藩があるのでしょうか？一人からでも始められる、興味を持ったことなら何でも支援してもらえる制度です。Academicコース、Bakaコース、Cultureコース、Zeniコース

他にもいろいろ

ふざけているのか、まじめなのか、

落差が大きすぎてよくわからないのですが、

本人は、自分が一番普通だと思っているらしいです。

私も、いきなりムチャ振りされるときが、ここに来たことを後悔する瞬間です。

# 一番変わったのは気持ちでした

勉強は自分でするもの。周りがしてくれることって何だろう。

## 高まる

頭のいい人と話すと楽しいと思いました。普段友達と話すのは楽しいけれど、少し違った楽しさです。また、時々授業に割り込まれるインターネットの授業（大学講義）や、最先端の技術の話などを聞くと、気持ちが高まります。

## 広がる

学校は狭い世界だなと思いました。世界はもっと広い、知らないことはたくさんある。もっと知りたいです。どうしても自分一人だと、自分の知っている範囲に留まりがちなので、だれかのサポートがあるとありがたいです。

## 固まる

基本的な知識が、今まではふわっとしていたのですが、少しずつですが、本当にわかるという感覚が、わかってきました。また、頭でわかるだけでなく、繰り返し、継続（筋トレ系）の大切さも、実感できました。

## つながる

今までバラバラだった知識が、だんだんつながってきて、この繋がる瞬間、自分脳がとても喜んでいるように感じます。特に、教科をまたがったつながりを感じられるのは、教科専門でないメリットで、それは大きい。

## 深まる

好きなことは、学校で習うのを待たなくて、自分でどんどん深めていって良いということを知りました。当たり前なことなのですが、そんなことすら知らなかったんだよなあ。

## まとまる

いろいろなものごとを、つなげて考えられるようになると、徐々にそれらが自分の中でまとまってきて、新しいものが生まれそうです。まだまだ未熟ではありますが。

気持ちが変わる

↓

姿勢が変わる

↓

習慣が変わる

↓

行動画変わる

↓

運命が変わる

# 最後のレッスン、そして・・・ 1つの旅が終わりました

そして、最後の授業の日を迎えました。

考えてみたら、10年近くも通っていました。

自分のことをこれだけ長い期間にわたって見守ってくれた人は、  
もしかしたら、家族や友達を除くと、これから先の人生を含めてもないかもしれません。  
自分にとって本当の学び舎はここだったのかな。

今日は最後の授業ということで、それを受けると、“なんと17年保証”が付くらしいです。  
相変わらず何のことやらではありますが、35歳までは面倒見てくれるらしいです。

内容はここでは伏せますが、まあ相変わらずって感じでした。

ただ、自分のことをよく理解して、そして期待してくれている人が、  
この世の中に少なくとも1人いることはわかりました。  
*本、もらえたでしょ。一人ひとりのその時に効く本をあげる「本でお医者さん」を秘かに目指しているんです。*

あんな大人にはならなくていいと思いますが、時々遊びに来たいと思います。

↑ 私もそう思います！ ここ大事！！

# 今から思えば あったもの

最初に、ここには何も無いって言ったけど、  
ここには3つのものがあったなと改めて思いました。

## 未来

大学生は、割と近い未来です。  
授業の合間に話される先生自身の研究や  
大学生活のこと、刺激になります。  
また、身近な問題と、社会のこと世界の  
ことを結び付けて話してくれるので、  
具体的に未来をイメージしやすく  
なってきました。

## 希望

「自分で考えること」に対する信頼は、  
希望の素です。  
たとえ今は間違っただとしても、  
それは、「勉強になった」ということ。  
一段階、階段を上ったということです。  
できれば死ぬまで、自分の能力に挑戦  
できたら、と思います。

そしてこれからは、自分の力で

- やりたいこと
- できること
- やらなければならないこと

を焦らずじっくり、すり合わせていこうと思います。

## 安心

いつもの先生が、いつもの調子で迎えて  
くれる。目先の成績は上下しますが、  
一貫した態度で見てもらえるというのは、  
安心できます。組み分けとか、部活とか、  
それはそれで、良かったんだろうな。

最初の面談の時に、ご両親が望んでいらした  
ものも、この3つだと思います



# それから10年が経ちました

今、とても忙しいけれど、毎日充実しています。  
自分がメインでやっているプロジェクトが1つと、  
サブで参画しているプロジェクトが3つ。  
仕事はどれも意義高いものですが、大きさはマチマチです。  
すばらしい同僚に囲まれて、切磋琢磨の毎日です。

家は、東京と札幌と奄美大島と金沢、そして農園を各地にポツポツと。  
他に海外拠点として、パリとジャマイカ、そしてサンフランシスコ。  
どこにいても必要な人とつながっているので、  
生活や仕事の継続上、何の問題もありません。

# 「F、お前バカだな！」

先日、社長にたぶん褒められました。

ただ、言葉がこれだったので、はっきりとはわかりません。

「おもしろい奴」と思われたことは、事実だと思います。

その期待に応えるために、今後もたゆまぬ努力を続けていきます。

努力といっても、、、歯を食いしばってって感じではないんですよ。

自分が本当に大切だと思うことを、納得いくまでやっています。

そんな環境にいられることを幸せだと思いますが、

もし仮に、他の環境にいたとしても、

良くも悪くも、やっぱり自分は自分だっただろうなと思います。

# エウレカ！

長年取り組んできた問題の解決策が、  
ついに見つかったかもしれません。これから検証作業です。  
どうしても埋まらなかった最後のピースが、こんなところに。

「すべての物事は、必ずどこかでつながっている。  
だから、どんな勉強も無駄にならない。すべてが勉強。  
むしろ、関係ないものを結び付けるのが知性。  
知性を磨くのが勉強。  
単なる組み合わせでなく、次元を飛び越えるのが創造力。  
創造力の源泉は、想像力。  
しかし効率や最適化をバカにしてはいけない。  
常に初陣。自分を使い倒して、自分が楽しめ！」

そんな言葉が、頭をよぎりました。これって、どこで聞いたんだっけ？

# 時々いるんですよ

年齢や性別、職業、性格、立場は全然違ってても、  
あ、この人の感性好きだな！と思える人が。  
自然体で、謙虚で柔軟だけど、どこか毅然としている。  
何より誠実であり、そして人より少し先を見ている。

親しくなって話してみると、なんと時期は多少違えど、  
あの塾の卒業生だったことがわかって、お互いびっくり。  
あんな小さな塾なのに。

声高に名乗ることはないけれど、  
要所要所に実はそういう人がいるなんて、なんだか不思議な気がします。

# 杜となるらめ

自分の子の教育について考える日が来るなんて。  
もちろん、頭ではわかっていたけどね。

あの塾、まだあるのかな。

あったとしても、あの人も相当年取ってるだろうし、  
自分には合っていたかもしれないけれど、  
この子に合うかどうかは、わからないよな。

まあでも、久しぶりに行ってみようかな。この子も連れて。  
どうなるかなんて、わからないけれど。

自分を使い倒して、自分が楽しんでほしい。 この子にも。

学ぶとは問うこと。人は人から学びます。

過去の人たちから、現代の人たちから、世界の人たちから、目の前の自然から、

一生、一緒に学びましょう。